

2022年度 基礎研修Ⅰ 開催のお知らせ

基礎研修は、基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3段階で構成され、社会福祉士会に入会して初めに受ける研修として位置付けられています。

基礎研修とは・・・

○基礎研修は、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的としています。基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲそれぞれの研修に1年、合計3年にわたり受講を進めます。

○基礎研修は、生涯研修制度（都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士を対象とした制度）の基礎課程に該当します。

○基礎研修は、認定社会福祉士制度の認証研修（認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修）です。基礎研修（基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲ）を修了すると、認定社会福祉士制度における認定社会福祉士の取得申請に必須となる共通専門10単位（生涯研修ルートで取得の場合）を得ることができます（その場合は、基礎研修Ⅰ受講開始から6年度間以内に基礎研修Ⅲまでを修了することが要件となります）。

○ぱあとなあ東京に新規で名簿登録を希望する方は、2017年度より基礎研修を修了していることが養成研修受講の要件となります。登録には他にも要件があります。
（詳しくは権利擁護センターぱあとなあ東京事務局までお問い合わせください。）

基礎研修Ⅰのねらい

社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する。

基礎研修Ⅰの目標

- ①専門職が職能団体を構成する意義を知る。
- ②日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る。
- ③生涯研修制度について知る。
- ④社会福祉士に共通する専門性について知る。
- ⑤実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る。
- ⑥実践をふまえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る。

開催方法

2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合研修はZoomを用いたオンラインで実施します。基礎研修Ⅰの修了には、Zoomでの研修のほか、課題提出やeラーニング学習が必要です。

※Zoomの受講においては、以下の9. 注意事項をご確認ください。

※eラーニング学習方法については、研修1日目に案内します。

募集要項

1. 研修日程

日曜コース：2022年9月25日（日）～2023年1月29日（日）

土曜コース：2022年10月29日（土）～2023年3月4日（土）

※日曜コース、土曜コースのいずれかを選択してください。

※日曜コースから土曜コース、土曜コースから日曜コースへの講座振替はできません。

2. 会 場

オンライン（Zoom ミーティングを使用）

3. 募集対象

社会福祉士の有資格者

4. 募集人数

各コース60名 ※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選にて受講者を決定します。

※当会会員を優先し、入会手続き中の方もお申込み可能です。

入会手続き中の方は、7月4日（月）までに入会手続きをお済ませください。

5. 受講料

11,000円（別途、テキスト代2,000円が必要です）

・テキスト代は、基礎研修テキスト[上]巻代として徴収します。

・受講料・テキスト代は振込みとなります。振込先・振込日は「受講決定通知書」に記載いたします。

・受講料振込後の受講者都合による返金は応じかねます。

6. 申込み方法

下記のいずれかより、申込みフォームに入力のうえお申込ください。

・東京社会福祉士会ホームページ（トピックス → センター発）

・QRコード→



7. 申込み締切

2022年7月4日（月）17:30まで

※受講申込み受付終了後、受講決定者の方に「受講決定通知書」を送付いたします。

8. 研修の中止について

自然災害等、当会の責に帰さない事由による中止の場合は、振込手数料を差し引いた額を返金いたします。

9. 注意事項（Zoom 受講について）

・本研修は、Zoom を使用して行います（集合型の研修ではありません）。

各自にインターネット環境、使用する端末にカメラ機能・マイク機能があることが前提です。

パソコンでの受講を推奨いたします（機材等の貸出等はありません）。

・受講者には、事前にカメラとマイクの環境確認をするための方法をお伝えします。

・当日、受講者側の通信状態が悪い、または機器設定ができない場合は、参加いただくことができない場合があります。ご了承ください。

・研修受講時は、双方向性で行います。Zoom 画面に受講者全員の名前、顔が映ります。ご了承ください。

・受講者側での録画や録音は禁止いたします。

・研修の記録として、本研修内容をレコーディングする場合があります。ご了承ください。

（レコーディングした映像等については、記録以外に使用することはありません）

10. 申込み～事前課題提出までのスケジュール

<日曜コース・土曜コース共通>

受講申込み受付期間	2022年6月1日(水)～7月4日(月) 17:30まで
受講決定通知書の発送	2022年7月下旬
事前課題(2本)提出期間	2022年8月1日(月)～8月28日(日)まで

11. 受講開始以降のスケジュール

日曜 コース	《研修1日目(オンライン)》	2022年9月25日(日) 9:25～13:30
	《中間課題・eラーニング※1》	2022年9月26日(月)～2022年12月12日(月) 必着
	《研修2日目(オンライン)》	2023年1月29日(日) 9:25～13:00

土曜 コース	《研修1日目(オンライン)》	2022年10月29日(土) 9:25～13:30
	《中間課題・eラーニング※1》	2022年10月30日(日)～2023年1月10日(火) 必着
	《研修2日目(オンライン)》	2023年3月4日(土) 9:25～13:00

※1 eラーニングシステムを利用し、以下の5講座を視聴します。

- ・生涯研修制度独自科目「社会福祉士会のあゆみ」(約60分)
「日本社会福祉士会の組織」(約30分)
「生涯研修制度」(約90分)
- ・ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ「社会福祉士に共通する専門性の理解」(90分)
- ・権利擁護・法学系科目Ⅰ「倫理綱領・行動規範の理解」(90分)

課題の提出方法、eラーニングシステム受講証明書の提出方法は、別途案内します。

12. 研修プログラム(集合研修)

《研修1日目》 日曜コース・土曜コース共通

時間	科目	講座名
9:25～13:30	オリエンテーション	開会あいさつ、受講における注意事項
	生涯研修制度独自科目	「東京社会福祉士会のあゆみ」(30分)
	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	「社会福祉士の専門性について考える」(150分)
	事務連絡	eラーニング受講方法の説明、中間課題の説明等
受講者ネット交流会 ※申込者のみ(事前申込みが必要です)		
14:30～16:00	受講者ネット交流会※2	(参加は任意)

※2 研修1日目終了後に受講者ネット交流会を行います(参加費:無料)。ひとり職種の方、中間課題(次ページ13参照)に取り組むための人脈作りをしたい方、資格をとったけれども未経験で実践の話を聞きたい方など、ぜひ交流しましょう(参加は任意です。参加を希望される方は、受講申し込み時にお知らせください。)

《研修2日目》 日曜コース・土曜コース共通

時間	科目	講座名
9:25～13:00	本日の流れ	—
	権利擁護・法学系科目Ⅰ	「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」(180分)
	事務連絡	

13. 事前課題・中間課題の提出について

- ・書式は問いません。
- ・ファイル形式は、ワードまたはPDFで提出してください。
- ・各課題には、受講番号と氏名、課題ごとに合計文字数を記入してください。

事前課題 ※提出期間 2022年8月1日(月)～8月28日(日)まで<各コース共通>

①「社会福祉士の役割を考える」(1200字程度)

「生涯研修手帳」を読み、生涯研修制度の概略を理解してください。そのうえで、社会福祉士としての専門性について、あなたの考えをまとめ生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかを、1200字程度にまとめてください。

②「社会福祉士としての専門性について考える」(800字程度)

「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を読み、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて、800字程度にまとめてください。

中間課題 ※提出期間はコースにより異なります

①「社会福祉士に共通する専門性の理解」(1200字程度)

『基礎研修テキスト』上巻のP12～P31「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士に共通する専門性が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、1200字程度にまとめてください。

②「所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1200字程度)

所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、1200字程度にまとめてください。

※現在所属先がないなどの理由で、所属先で話が聞けない場合は、この課題は提出せず、中間課題③を3か所提出してください。

③「所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1施設につき1200字程度、2か所以上)

他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所(独立型社会福祉士事務所を含む)で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、それぞれ1200字程度でまとめてください。

④「倫理綱領・行動規範の理解」(1項目につき1200字程度、2項目を提出)

あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士の行動規範」と照らし合わせ、行動規範のうち2つの項目を取り上げ、1項目につき1200字程度にまとめて実践を考察してください。

注意！！ 中間課題の提出は、合計6本の提出が必要です。 提出方法は別途案内します。

イ) 所属先がない方、所属先に社会福祉士がいない方(課題総数6本)

→中間課題①、中間課題③×3か所、中間課題④×2項目

ロ) 上記以外の方(課題総数6本)

→中間課題①×1、中間課題②×1、中間課題③×2か所、中間課題④×2項目

お問合せ先 公益社団法人東京社会福祉士会 事務局 生涯研修センター担当：渡会・岩本
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5階
TEL：03-5944-8466 / MAIL：syougaikensyuu@tokyo-csw.org